

# 風の記憶



甲斐市立玉幡中学校  
学校だより第13号  
令和8年3月25日  
発行 樋川 和之

**赤学年122名の旅立ち!!**

## 第42回卒業証書授与式!

春の訪れを感じる穏やかな陽光のもと、3月11日(水)、本校第42回卒業証書授与式が挙行されました。1、2年生の前日準備により、きれいに整えられた体育館には、儀式的行事にふさわしい厳粛な空気と、暖かな雰囲気醸し出されていました。その中で122名の卒業生は、涙を流しながらも、素晴らしい合唱を歌いきり、メッセージを伝え、胸を張って旅立っていきました。卒業生と保護者の皆様、在校生、学校関係者、教職員の思いが結実した感動的な式典となりました。ご参加いただいた来賓の方々からも、帰り際に「すばらしい式だった」、「生徒の姿に感動した」などと口々にお褒めのことばをいただきました。私は式辞の中で、聖路加国際病院の名誉院長であった日野原重明先生の命と時間の話をしました。「命も時間も目には見えないものですが、私たちはそれを活用することができます。人が時間をかけて何かを考えたり、創り出したり、誰かのために行動するとき、そこには新しいアイデアや仕組みが生まれます。そして、その先には、誰かの笑顔が生まれます。このように時間を使うことで、目には見えなかった命や時間は、目に見える確かな形となって現れてきます。これからの人生においても、自分の命、そして誰かの命も、時間も、何ものにも代えがたいものとして大切にしてください。」と話しました。

また、「赤翔桜笑」をテーマとした卒業式第2部「門出」の中では、在校生を代表して、2年生徒会長が送辞を読み『卒業生が築いた伝統を守りつつ、さらに進化させていく使命を全うできるよう努力する』と誓いました。卒業生からは「時を超えて」、「明日の空へ」、「正解」の3曲が披露され、仲間や先生方、保護者への呼びかけが感動を呼びました。3年生徒会長が読み上げた答辞『私たちは特別な日々を過ごしたわけではありません。でも、何気ない日々の全てが特別だったのだと思います。それが全部宝物だよ。大好きなこの場所での数々の思い出が消えることはありません。今までの経験を糧に、自身の道を進んでいきます』も、すばらしい内容でした。この日、122人が学び舎を巣立っていきました。一人一人が自分の可能性を信じ、困難にめげず、失敗や挫折にへこたれることなく、未来に向かって歩んでもらいたいものです。そして、送り出した私たちも、また新たな歩みを始めていきたいと思います。

「玉幡中ホームページへ」

<https://www.city-kai.ed.jp/rtchu/>



# 令和7年度 「修了式」

本日3月25日(水)、令和7年度の最後の授業日で、玉幡中の1年を締めくくる修了式が行われました。修了式では、各学年代表の生徒を通じて1・2年生全員に、1年生は1年生の、2年生は2年生の、全ての学び、課程を修了したことを認めた証明書である修了証書を渡しました。

昨年4月にスタートした令和7年度の全ての活動が終わり、明日の離任式を残すだけとなりました。修了式でも話をしましたが、1年は本当に早いと感じます。令和7年度の授業日数は197日、1年間は、春、夏、秋、冬と同じことの繰り返しのようには思えますが、毎年ひとまわりずつ、大きくなる樹木のように、玉中生一人一人も、成長のスピードこそ違いはあれ、誰もが着実に成長をしています。特に、3年生が卒業した後、2年生はグッと成長し、最上級生としての存在感を増してきたように感じられます。卒業式の準備などでも先頭に立って頑張り、感謝の気持ちも卒業生に伝えることができました。忙しい中ですが、修学旅行に向けての取組も継続されており、卒業生から引き継いだ清掃分担や部活動にもいっそう熱心に励んでいる様子が見えます。これからの学校の主役として、4月から玉中を引っ張ってくれそうで、大きな期待をしています。

また、1年生もここに来て、大きく成長を感じさせてくれることが多くなりました。明るく元気な雰囲気を継続しつつ、ふるさと学習の取組を進めたり、新入生説明会や、進路説明会における合唱発表でも、響きのある素敵なハーモニーを響かせていました。4月からは、先輩としての姿を見せるときが迫っています。自分を磨き、新入生の良い手本となることを期待しています。

## 保護者の皆さまへ ご支援・ご協力に心より感謝申し上げます

本日で、令和7年度が終わり、明日26日(木)の離任式を残すだけとなりました。この1年間、保護者の皆さまには諸行事に積極的にご参加いただき、様々な面でご支援とご協力をいただきました。授業参観や各種説明会に足を運んでいただいたり、緑水祭や総体激励会などを参観して応援してくださったり、愛校作業やあいさつ運動、給食試食会等のPTA活動に時間をやりくりして参加していただき、おかげさまで、大きな成果を上げるとともに、生徒たちも大きく成長することができました。

このことは、私ども職員にとりましても大きな励みとなりました。心より感謝申し上げますと共に、4月よりスタートします、令和8年度も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。学校だより「風の記憶」も、これが本年度の最終号となりました。生徒たちのがんばりや学校の様子、その時々のお便りをお伝えしたく、発行を重ねて参りました。拙い文章にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。